ふるさとへの思いと絆をつなぐ広報誌

平成29年2月20日発行（毎月1回20日発行）

ふるさとだより 2

2017年
FEBRUARY
NO.68

久之浜・大久、四倉、平、小名浜、勿来

表紙からMessage

沼ノ内の奇祭「水祝儀」

沼ノ内地区に約400年続く市の無形文化財で、地域の初婿に祝い水をかけて家内安全や豊漁豊作、地域の繁栄などを願う祭り、「水祝儀」。今年の初婿は例年より多い4名で、祝い水をかける桶持ちの手にもついつい力が入りました。（P4に関連記事）

各地区トピックス

伝統の酉小屋が復活……2
公民館で記念講演と意見発表……3
ふくしまみなと未来塾……4
江名・小名浜のお焚き上げ……5
昔ながらの正月遊びで交流……6
ふるさとダイアリー……7

ふるさとだよりの記事が動画で!!

COCOAR

マークのある記事にスマホやタブレットをかざすと動画が見られます！（見方はP8）

ふるさとの未来へ向けて

再出発へ向けて二施設の建設工事進む

浜風きらら

住民からの大きな期待を受けて工事が進む浜風きらら。3月末に工事が終了し、4月20日にオープニングセレモニーが行われる予定です。

急ピッチで工事が進む浜風きらら

久之浜こども園

平第一幼稚園で合同保育を行ってきた久之浜第一幼稚園が、0～5歳児までを預かる認定こども園「久之浜こども園」に生まれ変わります。「4月1日、いよいよ再スタートです。地区のみなさんと一緒に集い、ふれあえる場にしていきたい」と青木孝子園長。春の訪れとともに、元気な子どもたちの声が帰ってきます。

子どもたちの入園を待つ新園舎

伝統の酉小屋が復活

12月26日、区長や町内会役員、久之浜・大久地区まちづくりサポートチームのメンバーにより酉小屋が建てられました。「田之網や小久にはあったけど、町場の酉小屋は、俺が高校生の頃以来だから50数年ぶりかな？」と木田寿夫西町1区長。

年末年始には酉小屋の中やその周辺で、様々な催しが行われました。28日には、子どもが集まりアニメの上映会、1月3日には町内会役員の新年会、5日には、おしるこや甘酒が振る舞われ久之浜二小児童クラブの児童など子ども40名が集まりました。

そして1月8日、地区住民が持ち寄った正月飾りが酉小屋に納められ、焚き上げられました。赤々と燃える炎を見つめながら、多くの人が無病息災と故郷の復興を願いました。

ふれあい広場で50数年ぶりに燃え上がる浜の酉小屋

子どもたちに酉小屋の由来などを話す木田区長

久之浜・大久ピックアップ

星廼宮（ほしのみや）神社だるま市

1月8日、震災復興土地区画整理事業による新たな区割りに、仮の社殿が移築された星廼宮神社でだるま市が開催。多くの人が新春の縁起物を買い求めていました。

浜の恒例行事新春だるま市

漁協久之浜支所出初式

1月8日、市漁業協同組合久之浜支所の出初式が行われました。大漁旗をはためかせながら漁船が出港し、本格操業の早期実現と今年一年の海の安全を祈りました。

大漁旗はためく第十二清幸丸

翠祥園新年祝賀会

1月12日、末続の特別養護老人ホーム翠祥園で新年祝賀会が開かれました。コールはまぎくの合唱と海神乱舞の演舞が披露され、85名の入所者と新たな年を祝いました。

歌と踊りを楽しむ新春の一日

ふるさとの未来へ向けて

大人への決意を新たに

1月8日、四倉地区の成人式が、いわき海浜自然の家で開かれ、116名（男性57名・女性59名）が出席しました。

記念品贈呈や来賓からのお祝いの言葉などに続き、新成人を代表して下山田勇太さんが「社会人として自分自身の行動や発言に責任を持ち、社会という大海に胸を張って船出していきたい」とあいさつしました。

式典の後、新成人たちは恩師を囲んで記念写真を撮ったり、昔話に花を咲かせたりしていました。

緊張した面持ちで式に臨む新成人のみなさん

決意も新たに力強くあいさつする下山田勇太さん

公民館で記念講演と意見発表

1月28日、第25回四倉地区青少年健全育成推進大会が、四倉公民館で開かれました。

第一部では、小名浜在住の志賀としえさんが「命をありがとう！～白血病を乗り越えて～」と題して記念講演。志賀さんは若くして急性骨髄性白血病を発症したものの、骨髄移植を受けて病を克服したことや、宮城県気仙沼市の実家に住んでいた両親と義姉を震災の津波で失ったことなどに触れ、「病気で苦しんでいる人の立場になって、そういう人たちを支える優しさを持って欲しい」と話しました。

第二部では、四倉小、大浦小、大野一小、同二小、四倉中、大野中、四倉高の代表7名が学校生活や大切な家族、四倉町への思いなどについて意見発表を行いました。

志賀さんと意見発表した7名の児童生徒のみなさん

自身の体験を踏まえながら講演する志賀としえさん

四倉ピックアップ

四倉小で防災訓練

1月16日、四倉小で平消防署四倉分署による防災訓練が行われ、3年生50名が起震車を体験したほか、災害時に避難所などで使う資機材を見学しました。

起震車で揺れを体験する児童

地域の歴史と文化を学ぶ

1月19日、第3回四倉学講座が開かれ、緑川健さんが「四倉のいろいろ入門～四倉とはどんなところ?」と題して、地域の歴史や文化などを解説しました。

商工会館で開かれた四倉学講座

あんこうのつるし切り

1月28日、道の駅よつくら港であんこうのつるし切り体験が行われ、参加者は約12kgもあるあんこうをさばいた後、スタッフが調理したあんこう汁を味わいました。

つるし切りに挑戦する参加者

ふるさとの未来へ向けて

地域の伝統 沼ノ内「水祝儀」

1月9日、沼ノ内公民館に隣接する愛宕神社で約400年続く奇祭「水祝儀」が行われ、家族の幸せや地元の復興を祈りながら、初婿たちが地域の洗礼を受けました。

今年の初婿は、大谷佳広さん、比佐裕太さん、新妻俊裕さん、日野輝久さんの4人。青年会が担当する桶持ちから手荒い祝福を受け、足、腰、頭の順に3回冷たい祝い水を浴びました。今年は見物客も多く、桶持ちたちも張り切って、つめかけた多くの人たちや来場者にも、祝い水をかけていました。

寒空の下、願いを込めた祝い水を受ける4人の初婿

祝い水を浴びた後、諏訪神社まで走って水祝儀を終えた初婿たち

ふくしまみなと未来塾

1月22日、東京都の港区立青山中学校で「ふくしまみなと未来塾in青山未来塾フェア」が開催されました。これは風評対策提案事業として、福島県とNPO法人MOVEとの共催で行った、福島の食と文化の交流イベントです。

港区といわき市は商店街友好都市を締結しており、震災以降、この繋がりを若い人たちにも広めようと交流事業を展開しています。昨年8月には小名浜で交流事業を行い、今年は場所を青山に移して行いました。いわきからは沼ノ内の子ども獅子舞と豊間浜菊会（民謡）、平窪地区の子どもじゃんがらが参加しました。また、市漁協から先着200名にサンマのつみれ汁が振舞われました。

青山中学校体育館で舞を披露する沼ノ内子ども獅子舞

福島からの参加団体とMOVEのスタッフが一緒に記念撮影

平ピックアップ

海まち・とよま市民会議

1月14日、豊間公民館で第45回海まち・とよま市民会議が開かれ、フォトコンテストの経過報告後、震災記の聞取りなどについて協議。市からはグランドデザインの進捗について報告されました。

和やかに進められる会議

薄磯復興協議

1月15日、薄磯復興本部で、今年初の検討会議が行われました。これからの地域づくりや情報発信について協議委員会メンバーや学生ボランティアと話し合いました。

手作りの資料を元にビジョンを話す鈴木勝会長

たいら元気発信

クロマツの植樹

防災緑地海側ではクロマツの苗の植樹が進められています。（薄磯地区）

ふるさとの未来へ向けて

小名浜地区の成人式

1月8日、パレスいわやで平成29年小名浜地区の成人式が行われました。今年は男女合わせて659名の新成人が誕生。旧友たちとの再会を喜び、新たな門出を祝いました。

記念品贈呈で記念品を受け取る新成人代表髙橋なるみさん

文化財の消防訓練を実施

1月22日、文化財防火デー行事の一環として、市指定文化財の本殿がある江名諏訪神社で消防訓練が行われました。訓練には消防団第2支団、江名女性消防クラブ、江名自主防災会、江名中、小名浜消防署関係者など79名が参加。通報訓練や文化財搬出訓練なども行われ、防火に対する意識を高めました。

建物へ向かって放水する消防団

江名・小名浜のお焚き上げ

江名港

1月7日、江名港で松送り行事が行われました。江名行政区役員や市消防団第2支団第1分団の協力のもと、地元住民が持ち寄った正月飾りやだるまなどをお焚き上げし、無病息災を祈願しました。

お焚き上げの前で体を温めながら新年のあいさつなどを交わす住民たち

小名浜諏訪神社

1月12日、小名浜鎮守諏訪神社の境内で例大祭「清祓神事どんと祭」が行われました。無火災、災害除けを祈願する火鑽の儀が実施されたあと、地域住民が持ち寄った縁起物などが焚き上げられました。

正月飾りや縁起物に火をつけ燃やす、焚き上げの儀を見守る参拝者

小名浜ピックアップ

賑やかな交流会

12月26日、市公営住宅永崎団地集会所で住民同士の交流会が行われました。カラオケ大会もあり、盛り上がりを見せました。

子どもたちも仲良く歌声を披露

無病息災を願って

1月24日、江名の真福寺で五穀豊穣や無病息災を祈願する大般若祭が行われました。境内ではだるま市が開かれ、多くの人々がだるまを買い求めました。

だるまを選ぶ参拝客

おなはま元気発信

下神白迎（しもかじろむかえ）
馬目さん宅の庭に咲く紅梅

ふるさとの未来へ向けて

踏み出す、大人への第一歩

1月8日、勿来地区の平成29年成人式が、八幡台やまたまやで行われました。男女合わせて472名の新成人が、再会した旧友とともに新たな門出を祝いました。

華やかな晴れ着に身を包み、式に参加した新成人のみなさん

災害時の活動について学ぶ

1月15日、勿来消防署による防災講習会が、勿来支所で行われました。

同日から市内で行われた「防災とボランティア週間」に合わせて、地域防災力の連携強化を目的に実施。勿来地区内の自主防災会員や、NPO法人日本防災士機構の認定を受けた防災士など、およそ60名が参加しました。

日本防災士会県支部の藁谷俊史支部長により、災害時の活動における注意点を説明。また、市内の支所や学校に備蓄されている、簡易トイレや担架などの備品が消防署員から紹介され、参加者は活用方法について学びました。

昔ながらの正月遊びで交流

1月22日、勿来&双葉「かるたんか交流会」が勿来の関公園「吹風殿」で開催されました。昨年、勿来と双葉でそれぞれ制作した「勿来かるたんか」と「ふたばふるさとかるた」の完成を記念し、完成品を使ってカルタ大会を実施。また、昼にはスタッフが仕込んだカレーライスも振る舞われ、交流を深めた一日となりました。

いわきと双葉のキャラクター、フラおじさんと双葉ダルマさんも、会場に駆けつけてみんなを応援！

インディーズバンド「あっぱ」の演奏

真剣勝負で白熱したカルタ大会

勿来ピックアップ

色鮮やかなつるし雛

1月4日から31日まで、勿来地区在住の小野悦子さん、小松スミ子さん姉妹による「つるし雛飾り姉妹展」が、夕月・いわきかまぼこ工房「ゆめギャラリー」で開かれました。

会場を華やかに彩るつるし雛

裸神輿が海に舞う！

1月8日、関田海岸で酉小屋が行われました。昨年は人手不足により実施が断念された裸神輿も、2年ぶりに町へ繰り出し、海岸へ戻るとそのまま勢い良く海へ。大勢の人が見守る中、酉小屋に火が灯されました。

暗い海へ飛び込む担ぎ手たち

海岸を照らす酉小屋の炎

ふるさとダイアリー

四倉

新春恒例の正月送り

1月8日の正月送りでは、家々から持ち寄られた旧年のお札や正月飾りなどが会場に納められ、区長会のみなさんがお焚き上げを行いました。

四倉海岸での正月送り

妙見様のだるま市

毎年賑わうだるま市

1月8日、北辰妙見尊の御開帳に合わせた恒例のだるま市が行われ、だるまや熊手などの縁起物を求めて、早朝から多くの方が訪れました。

小名浜

おじいちゃんおばあちゃんと一緒に

1月13日、永崎保育所で伝承遊びお楽しみ会が行われました。子どもたちの祖父母36名が参加し、けん玉やコマ回しなど、昔の懐かしい玩具で一緒に遊んで、新春のひと時を過ごしました。

みんなですごろく遊び

おばあちゃんと福笑い

勿来

ながーいながーいらくがき展

昨年秋にアクアマリンふくしまで行われた、市内在住のデザイナー、秋元政明さん企画の絵画展「Smile,smile&smile!～みんなで一緒に輝こう!～」に来場した子どもたちによって描かれた、縦2m横1mの巨大画18枚が、1月31日まで勿来関文学歴史館の市民ギャラリーに展示されました。

壁一面に並んだ巨大画

秋元さんの作品も展示

平

豊間小の西会津交流

全員で記念撮影

1月20・21日、豊間小と西会津小の冬季交流会が西会津のさゆり公園や小学校の校庭などで行われました。子どもたちは、昨年8月にいわきで開催された夏季交流会以来の再会となり、雪のなか、元気に友情を深め合っていました。

初めてのスノーモービル体験

自分たちで作ったミニ灯篭

久之浜・大久

二十歳の誓い　成人式

1月8日、久之浜・大久ふれあい館講堂で久之浜・大久地区の成人式が行われ、56名（男女ともに28名）が出席し、新たな一歩を踏み出しました。

式典終了後の記念行事では、学校給食が再現され、恩師と一緒に懐かしのソフト麺を食べながら、思い出話に花を咲かせました。

誓いを述べる鈴木大騎さん

卒業以来の給食に感動

いわき市 ふるさとだより 第68号 平成29年2月20日発行
●発行:いわき市 ●編集:有限会社 いまじゅ ふるさとだより編集室
●編集室:〒973-8411 福島県いわき市小島町3丁目3-3 プリンセス・アイ1F
Tel&Fax:0246-26-5157
Mail:furusato@asally.co.jp http://www.furusatodayori.com

お知らせ

震災の教訓を忘れずに みんなで体験、防災意識を向上しよう！

1月15日、平消防署により「防災大作戦2017」が、いわき駅前タクシー広場で行われました。阪神淡路大震災と東日本大震災の教訓を忘れず、日頃から市民に防災意識を持ってもらおうと実施。

ロープ渡りに挑戦するレスキュー体験や、起震車を使用した地震の体験が行われたほか、救急車やはしご車、給水車などの防災関連車両も集まり、足を運んだ大勢の市民が防災意識を高めました。

レスキュー体験では、防火服に着替えてロープ渡りに挑戦

「消火マスター」を使い、火災を疑似体験しながら消火訓練

市消防団第1支団「はしご乗り保存会」による、はしご乗り

❋プチ講座❋ なるほど！いわきの歴史コーナー Part.17

200年の歴史を誇る、小さな藩「湯長谷藩」

平成26年6月の初公開に続き、昨年9月にも続編が公開された「超高速！参勤交代」。舞台は、江戸時代、いわき市常磐下湯長谷町にあった「湯長谷藩」で、主人公は四代藩主の内藤政醇がモデルとなっています。

寛文10年、磐城平藩二代藩主の内藤忠興の隠居により、三男の政亮に新田一万石が分与され、湯長谷藩が成立。その後、延宝4年に、仮居所を設けていた湯本村から、湯長谷に陣屋を築いて藩庁を移しました。明治4年までの約200年もの間、14代に渡って統治していましたが、廃藩置県により湯長谷県庁が置かれ、廃藩となりました。

磐崎中の校庭に建立された、湯長谷藩館址の石碑

政醇も葬られたと言われる内藤家の菩提寺、白鳥山龍勝寺

・・・追悼行事のお知らせ・・・

平成29年いわき市東日本大震災追悼式

日時／3月11日（土）
13:30～　開場
14:35～　開式
場所／いわき芸術文化交流館アリオス

東日本大震災追悼花供養

日時／3月11日（土）
10:30～　献花
14:00～　式典
場所／稲荷（秋葉）神社近辺（久之浜）

道の駅よつくら港で献花黙祷

日時／3月11日（土）
場所／道の駅よつくら港
◆震災発生時刻に合わせて、献花と黙祷を行います。

3.11メモリアル 未来に花を咲かせましょう!

日時／3月11日（土）
10:00～15:30
場所／チャイルドハウスふくまる
◆館内外で花の植栽や音楽イベントなどを開催。

薄磯区 東日本大震災物故者慰霊碑落慶法要並式典

日時／3月11日（土）
9:00～
場所／薄磯区復興本部前

薄磯区 東日本大震災物故者精霊七回忌法要並式典

日時／3月11日（土）
14:00～
場所／修徳院本堂

豊間区 東日本大震災物故者七回忌法要

日時／3月11日（土）
14：30～
場所／豊間漁港

震災復興６周年 夢と感動・勇気と希望を！「復興祭」小浜心の駅

日時／3月11日（土）
10:30～
場所／小浜海岸「心の駅」

なこその希望プロジェクト2017―6年目の3.11―伝統文化で偲ぶ追善供養

日時／3月11日（土）
第1部　僧侶による法要
14:30～　読経・焼香
14:46～　黙祷
14:50～　水供養
17:15～　キャンドル点火・点灯
第2部　伝統文化で偲ぶ追善供養
17:45～　関西からの元気玉
19:00～　お仕舞
19:35～　希望の花火
場所／小浜海岸

ふるさと伝言板

住まいと暮らしの再建相談会

日時／3月18日（土）
①10:00 ②13:00
③15:00（各90分程度）
場所／市文化センター
定員／9組(各時間3組)
◆お申し込みは開催日の3日前まで。
【問い合わせ】市ふるさと再生課
☎0246-22-7437

ふるさとだよりの記事が動画でも見られます！

① COCOAR アプリをダウンロード
iPhone/iPad「AppSTORE」から
Android「Google Play」から

②インストール後、アプリを起動すると右記のマークが表示されます。
③このマークをタップします。
④画像をスキャンします
⑤認識するとコンテンツが表示されます。

※画像に光が反射しないようにスキャンしてください！
注）ネット環境によって表示に時間がかかる場合があります。